

財務諸表等

平成23年度
(第8期事業年度)

自：平成23年 4月 1日
至：平成24年 3月31日

独立行政法人 国立病院機構

目 次

1. 貸借対照表	1
2. 損益計算書	3
3. キャッシュ・フロー計算書	7
4. 損失の処理に関する書類	9
5. 行政サービス実施コスト計算書	10
6. 注記事項	11
7. 附属明細書	21
(1) 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細	
(2) たな卸資産の明細	
(3) 有価証券の明細	
(4) 長期貸付金の明細	
(5) 長期借入金の明細	
(6) 独立行政法人国立病院機構債券の明細	
(7) 引当金の明細	
(8) 貸付金等に対する貸倒引当金の明細	
(9) 退職給付引当金の明細	
(10) 資産除去債務の明細	
(11) 資本金及び資本剰余金の明細	
(12) 積立金の明細	
(13) 目的積立金の取崩しの明細	
(14) 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細	
(15) 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細	
(16) 役員及び職員の給与の明細	
(17) 開示すべきセグメント情報	
(18) 上記以外の主な資産、負債、費用及び収益の明細	
8. 添付資料	
(1) 決算報告書	35
(2) 監事の意見	37
(3) 会計監査人の意見	39
(4) 施設別財務書類	(別冊1)
(5) 事業報告書	(別冊2)

財 務 諸 表

貸借対照表
(平成24年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
I 流動資産		
現金及び預金		71,114,083,250
有価証券		110,099,685,000
医業未収金	142,552,180,459	
貸倒引当金	△ 647,419,466	
		141,904,760,993
未収金		5,687,092,323
医薬品		3,542,940,584
診療材料		1,657,098,337
給食用材料		143,038,812
貯蔵品		601,071,615
前払費用		126,747,315
未収収益		29,137,553
その他流動資産		317,145,599
流動資産合計		335,222,801,381
II 固定資産		
1 有形固定資産		
建物	575,798,504,373	
減価償却累計額	△ 198,755,529,694	
減損損失累計額	△ 5,006,106,360	
		372,036,868,319
構築物	25,805,344,058	
減価償却累計額	△ 10,852,480,695	
減損損失累計額	△ 217,784,234	
		14,735,079,129
医療用器械備品	169,321,490,982	
減価償却累計額	△ 105,230,729,032	
減損損失累計額	△ 83,685,520	
		64,007,076,430
その他器械備品	45,922,281,465	
減価償却累計額	△ 23,080,445,324	
減損損失累計額	△ 22,516,781	
		22,819,319,360
車両	771,085,409	
減価償却累計額	△ 510,469,429	
減損損失累計額	△ 207,828	
		260,408,152
放射性同位元素	52,095,452	
減価償却累計額	△ 17,351,952	
		34,743,500
土地	475,556,878,873	
減損損失累計額	△ 2,908,960,473	
		472,647,918,400
建設仮勘定		3,300,589,197
その他有形固定資産		48,830,000
有形固定資産合計		949,890,832,487
2 無形固定資産		
特許権		4
借地権		6,450,000
ソフトウェア		20,720,702,526
電話加入権		204,537,188
無形固定資産合計		20,931,689,718
3 投資その他の資産		
投資有価証券		1,984,926,500
長期貸付金		766,602,400
破産更生債権等	2,542,586,935	
貸倒引当金	△ 2,542,586,935	
		0
長期前払費用		192,604,675
災害備蓄在庫		139,671,127
その他投資資産		148,337,500
投資その他の資産合計		3,232,142,202
固定資産合計		974,054,664,407
資産合計		1,309,277,465,788

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
負債の部			
I 流動負債			
運営費交付金債務		1,104,899,869	
預り施設費		177,641,622	
預り補助金等		436,719,303	
預り寄附金		1,000,884,494	
一年以内償還国立病院機構債券		2,000,000,000	
一年以内償還国立病院機構債券発行差額		△ 40,000	
一年以内返済長期借入金		42,108,471,656	
買掛金		32,992,676,129	
未払金		65,844,166,072	
一年以内支払リース債務		8,507,605,823	
未払費用		1,036,088,179	
未払消費税等		207,081,500	
預り金		3,038,440,301	
前受収益		24,414,073	
引当金			
賞与引当金	23,753,023,879		
損害補償損失引当金	12,151,980		
災害損失引当金	1,175,827,681	24,941,003,540	
一年以内履行資産除去債務		2,218,685	
その他流動負債		3,886,143,464	
流動負債合計			187,308,414,710
II 固定負債			
資産見返負債			
資産見返運営費交付金	2,633,707,280		
資産見返補助金等	6,530,376,777		
資産見返寄附金	2,138,860,559		
建設仮勘定見返施設費	146,259,790		
資産見返物品受贈額	47,033,427	11,496,237,833	
長期借入金		432,864,152,088	
長期未払金		642,879,442	
引当金			
退職給付引当金		277,441,017,085	
リース債務		21,629,523,217	
資産除去債務		228,640,362	
その他固定負債		617,131,187	
固定負債合計			744,919,581,214
負債合計			932,227,995,924
純資産の部			
I 資本金			
政府出資金		209,945,409,102	
資本金合計			209,945,409,102
II 資本剰余金			
資本剰余金		226,218,965,070	
損益外減価償却累計額(一)		△ 16,428,980,346	
損益外減損損失累計額(一)		△ 576,024,776	
資本剰余金合計			209,213,959,948
III 繰越欠損金			
積立金		58,688,190,329	
当期未処理損失		△ 100,798,089,515	
(うち当期総損失)	(△ 100,798,089,515)	
繰越欠損金合計			△ 42,109,899,186
純資産合計			377,049,469,864
負債純資産合計			1,309,277,465,788

損 益 計 算 書
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
経常収益		
I 診療業務収益		
医業収益		
入院診療収益	673,504,379,905	
室料差額収益	10,566,929,633	
外来診療収益	144,484,733,973	
保健予防活動収益	3,330,900,075	
その他医業収益	4,513,602,774	
保険等査定減(一)	△ 2,193,947,043	
運営費交付金収益		
運営費交付金収益	407,588,660	
資産見返運営費交付金戻入	532,846,576	940,435,236
補助金等収益		
補助金等収益	1,704,230,995	
資産見返補助金等戻入	656,742,153	2,360,973,148
寄附金収益		
寄附金収益		398,144,406
資産見返物品受贈額戻入		4,713,968
施設費収益		105,516,127
その他診療業務収益		4,455,319,772
診療業務収益合計		842,471,701,974
II 教育研修業務収益		
看護師等養成所収益		4,296,437,584
研修収益		105,831,297
運営費交付金収益		
運営費交付金収益		620,404,660
補助金等収益		
補助金等収益	4,125,253	
資産見返補助金等戻入	3,894,454	8,019,707
寄附金収益		
寄附金収益		1,027,188
資産見返物品受贈額戻入		9,493
施設費収益		14,049,739
その他教育研修業務収益		18,362,842
教育研修業務収益合計		5,064,142,510
III 臨床研究業務収益		
研究収益		5,408,313,901
運営費交付金収益		
運営費交付金収益	2,854,167,830	
資産見返運営費交付金戻入	270,257,468	3,124,425,298
補助金等収益		
補助金等収益	4,807,250	
資産見返補助金等戻入	4,097,845	8,905,095
寄附金収益		
寄附金収益	341,954,218	
資産見返寄附金戻入	11,581,649	353,535,867
その他臨床研究業務収益		83,581,542
臨床研究業務収益合計		8,978,761,703
IV その他経常収益		
財務収益		
受取利息		381,476,159
土地建物等貸付料収入		807,896,195
宿舍貸付料収入		907,576,192
運営費交付金収益		
運営費交付金収益		31,449,070,657
寄附金収益		
寄附金収益		5,382,500
その他経常収益		1,484,508,568
その他経常収益合計		35,035,910,271
経常収益合計		891,550,516,458

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
経常費用			
I 診療業務費			
給与費			
給料	286,977,224,250		
賞与	49,611,448,860		
賞与引当金繰入額	20,456,135,651		
退職給付費用	55,023,245,467		
法定福利費	14,661,960,374	426,730,014,602	
材料費			
医薬品費	116,119,604,262		
診療材料費	67,892,495,169		
医療消耗器具備品費	4,675,673,158		
給食用材料費	10,487,230,366	199,175,002,955	
委託費			
検査委託費	5,205,341,911		
給食委託費	5,781,853,101		
寝具委託費	1,316,827,971		
医事委託費	9,246,948,479		
清掃委託費	2,880,944,941		
保守委託費	3,722,065,791		
その他の委託費	10,510,753,883	38,664,736,077	
設備関係費			
減価償却費	52,611,838,023		
修繕費	7,628,476,208		
器機賃借料	9,582,418,424		
地代家賃	272,000,528		
固定資産税等	285,013,865		
器機保守料	10,511,970,222		
器機設備保険料	194,010		
車両関係費	99,316,800		
P F I 費用	3,060,099	80,994,288,179	
研究研修費			
経費			
福利厚生費	251,711,342		
旅費交通費	1,433,979,770		
通信費	987,266,239		
消耗品費	6,583,624,977		
消耗器具備品費	2,991,346,018		
水道光熱費	17,690,809,256		
患者諸費	1,086,785,077		
租税公課	917,847,097		
医業貸倒損失	3,939,164		
貸倒引当金繰入額	404,701,372		
低価法評価損	4,528,927		
その他	2,592,761,313	34,949,300,552	
診療業務費合計			780,816,527,761
II 教育研修業務費			
看護師等養成所運営費			
給与費			
給料	2,960,587,747		
賞与	568,420,421		
賞与引当金繰入額	230,382,480		
退職給付費用	578,300,111		
法定福利費	150,654,880	4,488,345,639	
経費			
福利厚生費	633,071		
臨床実習協力費	77,666,750		
旅費交通費	66,737,254		
通信費	32,003,083		
消耗品費	163,570,509		
消耗器具備品費	119,796,529		

科 目	金 額		
生徒関連諸費	210,129,889	1,378,288,368	
水道光熱費	234,285,168		
減価償却費	99,599,041		
その他	373,867,074		
研修活動費		109,911,802	
給与費			
給料	80,890,562		
賞与	13,405,176		
賞与引当金繰入額	3,773,024		
退職給付費用	7,734,232		
法定福利費	4,108,808		
経費			
福利厚生費	97,216		
旅費交通費	195,422,102		
通信費	5,828,692		
消耗品費	30,256,800		
消耗器具備品費	14,431,984		
水道光熱費	64,255,764		
減価償却費	48,097,808		
その他	131,108,795	489,499,161	
教育研修業務費合計			6,466,044,970
III 臨床研究業務費		6,264,448,837	
給与費			
給料	4,348,545,433		
賞与	772,313,719		
賞与引当金繰入額	314,661,128		
退職給付費用	534,273,277		
法定福利費	294,655,280		
材料費			
医薬品費	494,430,341		
研究材料費	153,356,912		
研究用消耗器具備品費	225,876,683		
経費			
福利厚生費	1,317,143		
旅費交通費	659,162,935		
通信費	52,664,415		
消耗品費	610,685,104		
消耗器具備品費	899,247,205		
水道光熱費	183,877,415		
委託費	659,774,690		
減価償却費	499,683,316		
その他	849,880,680	4,416,292,903	
臨床研究業務費合計			11,554,405,676
IV 一般管理費		33,851,177,753	
給与費			
給料	1,551,116,692		
役員報酬	93,888,107		
賞与	321,114,641		
賞与引当金繰入額	144,218,146		
退職給付費用	31,590,787,104		
法定福利費	150,053,063		
経費			
福利厚生費	7,534,621		
旅費交通費	87,705,840		
通信費	25,396,098		
消耗品費	58,009,336		
消耗器具備品費	4,942,804		
水道光熱費	18,765,197		
賃借料	14,825,550		

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額		
租税公課	34,784,119		
減価償却費	24,831,664		
その他	162,415,341	439,210,570	
一般管理費合計			34,290,388,323
V その他経常費用			
財務費用			
支払利息	10,255,903,889		
支払手数料	253,419,421		
その他経常費用	2,149,770,101	12,659,093,411	
その他経常費用合計			12,659,093,411
経常費用合計			845,786,460,141
経常利益			45,764,056,317
臨時利益			
固定資産売却益			14,926,447
損害補償損失引当金戻入益			41,560,610
その他臨時利益			1,178,796,464
			1,235,283,521
臨時損失			
固定資産売却損			212,905,713
固定資産除却損			2,438,010,753
固定資産減損損失			3,507,990,639
賠償金等負担額			781,717,858
その他臨時損失			140,856,804,390
			147,797,429,353
当期純損失			△ 100,798,089,515
当期総損失			△ 100,798,089,515

キャッシュ・フロー計算書
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
I 業務活動によるキャッシュ・フロー	
診療業務活動によるキャッシュ・フロー	
医業収入	828,026,708,966
運営費交付金収入	407,588,660
補助金等収入	3,253,236,295
補助金等の精算による返還金の支出	△ 29,486,414
寄附金収入	157,544,420
その他の収入	4,462,441,324
人件費支出	△ 405,381,923,306
材料の購入による支出	△ 197,504,533,420
その他の業務支出	△ 99,805,607,782
小計	133,585,968,743
教育研修業務活動によるキャッシュ・フロー	
看護師等養成による収入	4,292,186,984
研修による収入	103,208,427
運営費交付金収入	620,404,660
補助金等収入	43,106,253
寄附金収入	580,000
その他の収入	18,401,799
人件費支出	△ 4,390,877,252
その他の業務支出	△ 1,745,072,967
小計	△ 1,058,062,096
臨床研究業務活動によるキャッシュ・フロー	
研究による収入	5,257,093,541
運営費交付金収入	3,046,755,498
補助金等収入	9,930,000
寄附金収入	547,365,012
その他の収入	72,300,981
人件費支出	△ 6,030,629,732
材料の購入による支出	△ 881,830,950
その他の業務支出	△ 3,834,773,710
小計	△ 1,813,789,360
その他の業務活動によるキャッシュ・フロー	
運営費交付金収入	32,127,633,182
寄附金収入	5,382,500
その他の収入	4,692,504,659
人件費支出	△ 39,956,460,413
その他の業務支出	△ 8,059,698,887
小計	△ 11,190,638,959
利息の受取額	423,252,664
利息の支払額	△ 10,377,955,007
業務活動によるキャッシュ・フロー	109,568,775,985
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の戻入による収入	46,400,000,000
定期預金の預入による支出	△ 29,600,000,000
有価証券の売却による収入	400,800,000,000
有価証券の取得による支出	△ 428,000,000,000
有形固定資産の売却による収入	1,406,981,488
有形固定資産の取得による支出	△ 50,909,683,836
無形固定資産の取得による支出	△ 1,908,555,684
施設費による収入	2,686,685,149
資産除去債務の履行による支出	△ 13,175,821
貸付金の回収による収入	37,270,000

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額
貸付金による支出	△ 492,827,400
その他の投資活動による支出	△ 10,011,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 59,603,317,104
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	10,000,000,000
長期借入金の返済による支出	△ 46,146,239,656
不要財産に係る国庫納付等による支出	△ 408,054,320
リース債務償還による支出	△ 8,229,322,194
PFI債務償還による支出	△ 45,325,982
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 44,828,942,152
Ⅳ 資金増加額	5,136,516,729
Ⅴ 資金期首残高	53,477,566,521
Ⅵ 資金期末残高	58,614,083,250

損失の処理に関する書類
(平成24年9月6日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 当期末処理損失 当期総損失	△100,798,089,515	△100,798,089,515
II 損失処理額 積立金取崩額	58,688,190,329	58,688,190,329
III 次期繰越欠損金		△42,109,899,186

行政サービス実施コスト計算書
(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

科 目	金 額	
I 業務費用		
(1) 損益計算書上の費用		
診療業務費	780,816,527,761	
教育研修業務費	6,466,044,970	
臨床研究業務費	11,554,405,676	
一般管理費	34,290,388,323	
その他経常費用	12,659,093,411	
臨時損失	147,797,429,353	993,583,889,494
(2) (控除) 自己収入等		
診療業務収益	△839,060,063,495	
教育研修業務収益	△4,421,658,911	
臨床研究業務収益	△5,597,048,478	
その他経常収益	△3,586,839,614	
臨時利益	△1,235,283,521	△853,900,894,019
業務費用合計		139,682,995,475
II 損益外減価償却相当額		2,466,728,412
III 損益外減損損失相当額		153,467,928
IV 損益外除売却差額相当額		1,164,882,450
V 機会費用		
国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用	74,250,031	
政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用	3,937,970,338	4,012,220,369
VI 行政サービス実施コスト		147,480,294,634

注 記 事 項

I. 重要な会計方針

当事業年度より、独立行政法人会計基準（「独立行政法人会計基準の改訂について」（独立行政法人会計基準研究会、財政制度等審議会 財政制度分科会 法制・公会計部会 平成23年6月28日）及び『独立行政法人会計基準』及び『独立行政法人会計基準注解』に関するQ&A」（総務省行政管理局、財務省主計局、日本公認会計士協会 平成24年3月））を適用しております。

1. 運営費交付金収益の計上基準

業務達成基準を採用しております。

2. 減価償却の会計処理方法

(1) 有形固定資産

定額法を採用しております。

なお、主な資産の耐用年数は以下のとおりであります。

建 物	2	～	47年
構築物	2	～	68年
医療用器械備品	2	～	15年
その他器械備品	2	～	15年
車 両	2	～	6年
放射性同位元素	2	～	23年

また、特定の償却資産（独立行政法人会計基準第87）の減価償却相当額については、損益外減価償却累計額として資本剰余金から控除して表示しております。

(2) 無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、法人内利用ソフトウェアについては、法人内における利用可能期間（5年）に基づいております。

3. 退職給付に係る引当金及び見積額の計上基準

役職員の退職給付に備えるため、役員については独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程に基づく期末要支給額を、また、職員については当該事業年度末における退職給付債務及び恩給制度期間を有する退職職員の負担金である整理資源に関する債務を計上しております。

ただし、独立行政法人化前に発生した役職員の退職給付のうち、運営費交付金により財源措置がなされる額については、退職給付に係る引当金は計上しておりません。

(整理資源負担金の計上)

従来、整理資源負担金については運営費交付金を財源として支出してまいりました。

が、平成24年度より医業収益を財源として支出することになりました。

これにより、従来引当外であった当該負担額140,378百万円を退職給付引当金に含めて計上するとともに、同額を臨時損失として計上しております。

4. 貸倒引当金の計上基準

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

5. 賞与引当金の計上基準

役員に対して支給する業績年俵及び職員に対して支給する賞与に備えるため、当事業年度に負担すべき支給見込額を計上しております。

6. 損害補償損失引当金の計上基準

医療賠償等による損害賠償金の支払に備えるため、個別に発生可能性を検討し、その経過等の状況に基づき損失負担見込額を計上しております。

7. 災害損失引当金の計上基準

震災により被災した資産の原状回復費用等の支出に備えるため、当事業年度末における見積額を計上しております。

8. 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的債券については、償却原価法によっております。

9. たな卸資産の評価基準及び評価方法

(1) 医薬品

最終仕入原価法に基づく低価法

(2) 診療材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(3) 給食用材料

最終仕入原価法に基づく低価法

(4) 貯蔵品

金券類は個別法、その他は最終仕入原価法に基づく低価法

10. 債券発行差額の償却方法

債券発行差額は、債券の償還期間にわたって定額法により償却しております。

11. 行政サービス実施コスト計算書における機会費用の計上方法

(1) 国又は地方公共団体財産の無償又は減額された使用料による貸借取引の機会費用の計算方法

近隣の地代や賃貸料等を参考に計算しております。

(2) 政府出資又は地方公共団体出資等の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成24年3月末利回りを参考に0.985%で計算しており

ます。

(3) 政府又は地方公共団体からの無利子又は通常よりも有利な条件による融資取引の機会費用の計算に使用した利率

10年利付国債の平成24年3月末利回りを参考に0.985%で計算しております。

12. リース取引の処理方法

リース料総額が300万円以上のファイナンス・リース取引については、通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

リース料総額が300万円未満のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

13. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっております。

14. 固定資産の減損の処理方法

固定資産の減損に係る会計基準（「固定資産の減損に係る会計基準の設定に関する意見書」（企業会計審議会 平成14年8月9日））および「固定資産の減損に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第6号 平成15年10月31日）を適用しております。

また、独立行政法人国立病院機構の業務運営並びに財務及び会計に関する省令（平成16年厚生労働省令第77号）により、減価に対応すべき収益の獲得が予定されていないと認められる償却資産については、固定資産減損損失は計上せず、資産の減損額と同額を資本剰余金に対する控除として計上しております。

II. 貸借対照表

1. 運営費交付金から充当されるべき退職一時金に係る退職給付引当金の見積額
127,995,829,548円

2. 運営費交付金から充当されるべき退職共済年金に係る恩給負担金の見積額
232,640,000円

3. 金融商品関係

(1) 金融商品の状況に関する事項

当機構は、資金運用については短期的な預金及び公債に限定し、また、資金調達については財政融資資金からの借入及び財投機関債の発行によっております。

診療報酬債権に係る回収リスクは、収入管理事務要領等に沿ってリスク低減を図っております。また、投資有価証券は、独立行政法人通則法第47条の規定等に基づき、公債のみを保有しており株式等は保有しておりません。

借入金等の用途は事業投資資金であり、主務大臣により認可された資金計画に沿って、資金調達を行っております。

(2) 金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	貸借対照表 計上額	時 価	差 額
(1)現金及び預金	71,114	71,114	—
(2)医業未収金	142,552	142,552	—
(3)有価証券及び投資有価証券	112,084	112,124	39
満期保有目的債券	3,984	4,024	39
譲渡性預金	108,100	108,100	—
(4)国立病院機構債券	(2,000)	(2,006)	(6)
(5)長期借入金	(474,972)	(496,198)	(21,225)
(6)買掛金	(32,992)	(32,992)	(—)
(7)未払金	(65,844)	(65,844)	(—)
(8)リース債務	(30,137)	(29,985)	(△151)

(注1) 負債に計上されているものは () で示しております。

(注2) 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券等に関する事項

(1) 現金及び預金, (2) 医業未収金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券及び投資有価証券

満期保有目的債券の時価については、債券は取引所の価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

譲渡性預金については、短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

(4) 国立病院機構債券

当機構の発行する国立病院機構債券の時価は、市場価格によっております。

(5) 長期借入金, (8) リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

なお、リース債務の貸借対照表計上額は利子を含んでおります。

(6) 買掛金, (7) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、帳簿価額によっております。

Ⅲ. 損益計算書

1. 国又は地方公共団体からの受託による収益の科目別内訳

① その他診療業務収益	343,617,367円
② 研修収益	33,278,000円
③ その他教育研修業務収益	2,365,478円
④ 研究収益	22,408,260円
合計	<u>401,669,105円</u>

2. 受取利息の内訳

① 受取利息	41,782,154円
② 有価証券利息	339,694,005円
合計	<u>381,476,159円</u>

3. 固定資産売却益の内訳

① 土地	881,418円
② 医療用器械備品	13,306,762円
③ その他器械備品	4,200円
④ 車両	734,067円
合計	<u>14,926,447円</u>

4. 固定資産売却損の内訳

① 土地	212,890,663円
② 車両	15,050円
合計	<u>212,905,713円</u>

5. 固定資産減損損失

(1) 減損損失の金額及び内訳

(単位：円)

用途	場所	減 損 損 失		
		建 物	そ の 他	計
遊休資産(A) (病棟等)	青森県青森市浪岡大 字女鹿沢字平野155 外48箇所	1,691,821,707	1,816,168,932	3,507,990,639
小 計 (固定資産減損損失)		1,691,821,707	1,816,168,932	3,507,990,639
遊休資産(B) (研修棟等)	栃木県宇都宮市中戸 祭1-10-37 外5箇所	152,098,000	1,369,928	153,467,928
小 計 (資本剰余金から控除)		152,098,000	1,369,928	153,467,928
合 計		1,843,919,707	1,817,538,860	3,661,458,567

(2) 減損損失の認識に至った経緯

上記遊休資産については、将来の使用が見込まれておらず、回収可能価額が帳簿価額を下回っているため減損損失を認識しました。

(3) 資産のグルーピングの方法

当機構は、機構全体が一体となって政策医療を担っていることから、全体で一つの資産グループとしております。ただし、将来の使用が見込まれていない遊休資産及び事業の大幅な縮小や廃止に関する意思決定済みの資産については、それぞれ個別にグルーピングしております。

(4) 回収可能価額の算定方法

回収可能価額は、主として不動産鑑定評価額に基づく正味売却価額により算定しております。

6. その他臨時損失の内訳

① 退職共済年金に係る整理資源負担金の負担額	140,378,198,955円
② その他	478,605,435円
合計	<u>140,856,804,390円</u>

IV. キャッシュ・フロー計算書

1. 資金の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

現金及び預金勘定	71,114,083,250円
現金及び預金勘定のうち定期預金	12,500,000,000円
資金期末残高	<u>58,614,083,250円</u>

2. 重要な非資金取引

ファイナンス・リースによる資産の取得	11,555,074,902円
不要財産の国庫納付による資産の減少	1,893,920,000円

V. 退職給付引当金

1. 退職給付債務に関する事項

区 分	平成24年3月31日現在
退職給付債務 (A)	△134,015,316,752円
未認識過去勤務債務 (注) (B)	1,051,970,823円
未認識数理計算上の差異 (C)	△4,099,472,201円
整理資源負担金 (D)	△140,378,198,955円
退職給付引当金 (E) = (A) + (B) + (C) + (D)	△277,441,017,085円

(注) 平成18年8月1日から国家公務員退職手当法の一部を改正する法律(平成17年法律第115号)の適用を受けたため、過去勤務債務が発生しております。

2. 退職給付費用に関する事項

区 分	平成24年3月31日現在
勤務費用	18,594,566,548円
利息費用	2,586,386,231円
過去勤務債務の費用処理額	242,762,506円
数理計算上の差異の費用処理額	△948,185,958円
運営費交付金で財源措置された費用	31,049,457,537円
退職給付費用	51,524,986,864円

(注) 上記退職給付費用以外に共済組合負担金、長期公経済負担金等の退職給付費用として、36,209,353,327円を計上しております。

3. 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項

区 分	平成24年3月31日現在
割引率	1.0%
退職給付見込額の期間配分方法	期間定額基準
過去勤務債務の処理年数	発生事業年度から10年間
数理計算上の差異の処理年数	発生の翌事業年度から10年間

VI. 資産除去債務関係

1. 資産除去債務の概要

当機構は労働安全衛生法等の規定により生ずる債務として、所有する建物の解体時におけるアスベストの除去費用、医療用器械備品等の廃棄時における放射性同位元素の除去費用、及び照明装置の廃棄時におけるポリ塩化ビフェニルの除去費用につき資産除去債務を計上しております。

2. 資産除去債務の金額の算定方法

資産除去債務の見積もりにあたり、取得時からの使用見込期間を有形固定資産の耐用年数を参考に1年から41年と見積もっております。割引率は当該期間を勘案し、使用見込期間に見合う財政投融资及び国債の利回りを参考に算定しており、0.181%から2.382%となっております。

3. 当事業年度における資産除去債務の総額の増減

期首残高	171,141,666 円
有形固定資産の取得等に伴う増加額	103,939,787 円
時の経過による調整額	2,106,856 円
資産の除去等による履行額	46,329,262 円
期末残高	230,859,047 円

VII. 不要財産に係る国庫納付関係

1. 不要財産としての国庫納付等を行った資産の種類、帳簿価額等の概要

資産の種類	帳簿価額	備考
土地	1,111,863,469円	旧金沢若松病院
土地	163,920,000円	旧十勝療養所
土地、建物	1,730,000,000円	旧鳥取病院

2. 不要財産となった理由

「独立行政法人の事務・事業の見直しの基本方針」（平成22年12月7日閣議決定）において、国庫納付することとされたため。

3. 国庫納付等の方法

独立行政法人通則法第46条の2第1項及び第2項に基づく譲渡収入による現金及び現物納付

4. 譲渡収入による現金納付等を行った資産に係る譲渡収入の額 410,000,000円

5. 国庫納付等に当たり譲渡収入より控除した費用の額 1,945,680円

6. 国庫納付等の額 2,301,974,320円

7. 国庫納付等が行われた年月日
平成23年12月19日及び平成24年1月26日

8. 減資額 3,012,867,789円

VIII. オペレーティング・リース取引

1. 貸借対照表日後一年以内のリース期間に係る未経過リース料 117,744,303円
2. 貸借対照表日後一年を超えるリース期間に係る未経過リース料 249,203,697円

IX. 重要な債務負担行為
該当事項はありません。

X. 重要な後発事象
該当事項はありません。

XI. その他独立行政法人の状況を適切に開示するために必要な会計情報

当法人は、平成24年1月20日に閣議決定された「独立行政法人の制度及び組織の見直しの基本方針」において、平成26年4月を目途に「固有の根拠法に基づき設立される法人とする」こととされております。

財 務 諸 表
(附 屬 明 細 書)

1. 固定資産の取得、処分、減価償却費（「第87 特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第91 資産除去債務に係る特定の除去費用等」による損益外減価償却相当額も含む。）及び減損損失累計額の明細

資産の種類	期首 残高	当期 増加額	当期 減少額	期末 残高	減価償却累計額		減損損失累計額		差引当期 未残高	摘要
					当期償却額	累計額	当期減損額	累計額		
有形固定 資産(償却 費損益内)	488,962,474,138	26,701,227,936	2,106,261,317	513,557,440,757	182,974,518,211	4,431,451,512	1,691,821,707	326,151,471,034		
建物	22,995,738,676	908,525,677	116,510,973	23,787,753,380	10,204,511,832	216,414,306	31,894,215	13,366,827,242		
構築物	150,561,671,889	21,453,687,171	2,693,868,078	169,321,490,982	105,230,729,032	83,685,520	9,529,207	64,007,076,430		
医療用器械備品	38,547,962,611	10,155,454,684	2,781,135,830	45,922,281,465	23,080,445,324	22,516,781	4,963,714	22,819,319,360		
車両	681,260,293	109,079,115	19,253,999	771,085,409	510,469,429	207,828	0	260,408,152		
放射線同位元素	98,162,398	0	46,066,946	52,095,452	17,351,952	0	0	34,743,500		
計	701,847,270,005	59,327,974,583	7,763,097,143	753,412,147,445	322,018,025,780	4,754,275,947	1,738,208,843	426,639,845,718		
有形固定 資産(償却 費損益外)	61,058,467,207	2,560,253,045	1,377,656,636	62,241,063,616	15,781,011,483	574,654,848	152,098,000	45,885,397,285		
建物	1,941,156,996	82,364,619	5,930,937	2,017,590,678	647,968,863	1,369,928	1,369,928	1,368,251,887		
構築物	62,999,624,203	2,642,617,664	1,383,587,573	64,258,654,294	16,428,980,346	576,024,776	153,467,928	47,253,649,172		
土地	479,163,108,921	1,742,448,456	5,348,678,504	475,556,878,873	—	2,908,960,473	1,755,060,546	472,647,918,400		
建設仮勘定	1,840,573,525	5,821,837,134	4,361,821,462	3,300,589,197	—	—	16,721,250	3,300,589,197		
その他有形固定資産	44,330,000	4,500,000	0	48,830,000	—	0	0	48,830,000		
計	481,048,012,446	7,568,785,590	9,710,499,966	478,906,298,070	—	2,908,960,473	1,769,781,796	475,997,337,597		
建物	550,020,941,345	29,261,480,981	3,483,917,953	575,798,504,373	198,755,529,694	5,006,106,360	1,843,919,707	372,036,868,319		
構築物	24,936,895,672	990,890,296	122,441,910	25,805,344,058	10,852,480,695	217,784,234	33,264,143	14,735,079,129		
医療用器械備品	150,561,671,889	21,453,687,171	2,693,868,078	169,321,490,982	105,230,729,032	83,685,520	9,529,207	64,007,076,430		
その他器械備品	38,547,962,611	10,155,454,684	2,781,135,830	45,922,281,465	23,080,445,324	22,516,781	4,963,714	22,819,319,360		
車両	681,260,293	109,079,115	19,253,999	771,085,409	510,469,429	207,828	0	260,408,152		
放射線同位元素	98,162,398	0	46,066,946	52,095,452	17,351,952	0	0	34,743,500		
土地	479,163,108,921	1,742,448,456	5,348,678,504	475,556,878,873	—	2,908,960,473	1,753,060,546	472,647,918,400		
建設仮勘定	1,840,573,525	5,821,837,134	4,361,821,462	3,300,589,197	—	—	16,721,250	3,300,589,197		
その他有形固定資産	44,330,000	4,500,000	0	48,830,000	—	0	0	48,830,000		
計	1,245,894,906,654	69,539,377,837	18,857,184,682	1,296,577,099,809	338,447,006,126	8,239,261,196	3,661,458,567	949,890,832,487		
特許権	0	4	0	4	—	0	0	4		
借地権	6,450,000	0	0	6,450,000	—	0	0	6,450,000		
ソフトウエア	28,990,409,692	8,737,095,578	3,463,028,942	34,264,476,328	13,543,773,802	6,085,703,515	0	20,720,702,526		
電話加入権	205,945,170	0	144,000	205,801,170	—	1,263,982	0	204,537,188		
計	29,202,804,862	8,737,095,582	3,463,172,942	34,476,727,502	13,543,773,802	1,263,982	0	20,931,689,718		
投資有価証券	3,971,292,700	14,088,800	2,000,425,000	1,984,926,500	—	—	—	1,984,926,500		
長期貸付金	434,450,800	495,227,400	163,075,800	766,602,400	—	—	—	766,602,400		
破産更生債権等	2,644,184,513	695,673,048	797,270,626	2,542,586,935	—	—	—	2,542,586,935		
貸倒引当金	△ 2,644,184,513	△ 479,445,979	△ 81,043,557	△ 2,542,586,935	—	—	—	△ 2,542,586,935		
長期前払費用	243,795,591	35,511,956	86,702,872	192,604,675	—	0	0	192,604,675		
災害備蓄在庫	126,426,950	36,401,649	23,157,472	139,671,127	—	—	—	139,671,127		
その他投資資産	139,208,500	10,011,000	882,000	148,337,500	—	0	0	148,337,500		
計	4,915,174,541	807,437,874	2,490,470,213	3,232,142,202	—	0	0	3,232,142,202		

(単位:円)

2. たな卸資産の明細

種 類	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘 要
		当期購入・製造・振替	払出・振替	その他	その他		
医薬品	3,790,866,807	116,367,401,207	116,614,034,603	1,292,827	3,542,940,584	注	
診療材料	1,853,232,478	67,852,954,040	68,045,852,081	3,236,100	1,657,098,337	注	
給食用材料	127,853,585	10,502,415,593	10,487,230,366	0	143,038,812		
貯蔵品	587,285,889	20,807,538,514	20,793,752,788	0	601,071,615		
計	6,359,238,759	215,530,309,354	215,940,869,838	4,528,927	5,944,149,348		

(注) 当期減少額のその他は、低価格による評価損によるものです。

3. 有価証券の明細

(1) 流動資産として計上された有価証券

種 類 及 び 銘柄	取得価額	券面総額	当期費用に含まれた評価差額		摘 要
			貸借対照表計上額	当費用に含まれた評価差額	
満期保債	990,000,000	1,000,000,000	999,500,000	0	
国債	1,003,700,000	1,000,000,000	1,000,185,000	0	
財政機関債	1,993,700,000	2,000,000,000	1,999,685,000	0	
計	108,100,000,000	108,100,000,000	108,100,000,000	0	
貸借対照表計上額合計			110,099,685,000		

(2) 投資その他の資産として計上された有価証券

種 類 及 び 銘柄	取得価額	券面総額	当期費用に含まれた評価差額		摘 要
			貸借対照表計上額	当費用に含まれた評価差額	
満期保債	951,050,000	1,000,000,000	987,762,500	0	
国債	988,656,000	1,000,000,000	997,164,000	0	
財政機関債	1,939,706,000	2,000,000,000	1,984,926,500	0	
計			1,984,926,500		
貸借対照表計上額合計					

4. 長期貸付金の明細

区 分	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	摘 要
		期首残高	当期増加額	回収額	償却額		
奨学金貸与	443,550,800	492,827,400	37,270,000	121,015,800	778,092,400	注	
計	443,550,800	492,827,400	37,270,000	121,015,800	778,092,400		

(注) 1. 当期減少額のうち「償却額」は奨学金貸与規程第11条による返還免除除額です。
2. 一年以内回収長期貸付金(期末残高11,490,000円)を含めております。

5. 長期借入金の明細

区 分	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	平均利率(%)	返済期限	摘 要
		期首残高	当期増加額	当期減少額	償却額				
財政融資資金	511,118,863,400	10,000,000,000	10,000,000,000	46,146,239,656	474,972,623,744	1.96%	平成24年5月25日 ～平成49年3月20日		
計	511,118,863,400	10,000,000,000	10,000,000,000	46,146,239,656	474,972,623,744				

6. 独立行政法人国立病院機構債券の明細

銘柄	期首残高	当期増加額		当期減少額		期末残高	利率(%)	償還期限	摘 要
		期首残高	当期増加額	当期減少額	償却額				
第4回 独立行政法人国立病院機構債券 / 5年	2,000,000,000	0	0	0	2,000,000,000	1.63%	平成24年6月20日		
計	2,000,000,000	0	0	0	2,000,000,000				

7. 引当金の明細

区	分	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高	摘要
				目的使用	その他		
貸与引当金		22,713,251,828	23,753,023,879	22,713,251,828	0	23,753,023,879	
損害補償損失引当金		73,715,000	0	20,002,410	41,560,610	12,151,980	注1
災害損失引当金		2,498,184,486	16,148,530	340,022,218	998,483,117	1,175,827,681	注2
計		25,285,151,314	23,769,172,409	23,073,276,456	1,040,043,727	24,941,003,540	

(注) 1. 当期減少額のその他については、医療賠償等による損失負担込額と当期の費用との差額を計上しております。
 2. 当期減少額のうち、震災により被災した資産の原状回復費用等の見積額と当期の費用との差額を計上しております。

8. 貸付金等に対する貸倒引当金の明細

区	分	貸付金等の残高		貸倒引当金の残高		摘要
		期首残高	当期増減額	期首残高	当期増減額	
医業未収金		136,835,592,733	5,716,587,726	142,552,180,459	△ 63,398,116	647,419,466
一般債権		136,835,592,733	5,716,587,726	142,552,180,459	△ 63,398,116	647,419,466
未収金		2,227,878,566	3,459,213,757	5,687,092,323	0	0
一般債権		2,227,878,566	3,459,213,757	5,687,092,323	0	0
破産更生債権等		2,644,184,513	△ 101,597,578	2,542,586,935	2,644,184,513	2,542,586,935
破産更生債権等		2,644,184,513	△ 101,597,578	2,542,586,935	2,644,184,513	2,542,586,935
計		141,707,655,812	9,074,203,905	150,781,859,717	3,355,002,095	3,190,006,401

(注) 1. 一般債権については、貸倒実績率により、回収不能見込額を計上しております。
 2. 破産更生債権等（発生から1年以上経過した医業未収金及び未収金）については、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

9. 退職給付引当金の明細

区	分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
退職一時金に係る債務	118,126,458,430	22,602,593,506	6,713,735,184	134,015,316,752		
整理資産負担金に係る債務	0	140,378,198,955	0	140,378,198,955		
未認識過去勤務債務及び未認識数理計算上の差異	5,172,648,957	△ 1,419,724,127	705,423,452	3,047,501,378		
年金資産	-	-	-	-		
退職給付引当金	123,299,107,387	161,561,068,334	7,419,158,636	277,441,017,085		

10. 資産除去債務の明細

区	分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
特定放射線廃棄物の最終処分に関する法律等に基づく債務	83,909,549	879,080	43,939,543	40,849,086	注	
P.C.B.特別措置法等に基づく債務	14,346,885	0	0	14,346,885		
計	171,141,666	106,046,643	46,329,262	230,859,047		

(注) 当期増加額には、第9.1特定の除去費用は含まれておりません。

1 1. 資本金及び資本剰余金の明細

区	分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
資本金	政府出資金	212,958,276,891	0	3,012,867,789	209,945,409,102	注1
	計	212,958,276,891	0	3,012,867,789	209,945,409,102	
資本剰余金	施設費	32,781,018,575	2,642,617,664	0	35,423,636,239	
	補助金等	13,313,455,914	0	0	13,313,455,914	
	目的積立金	58,464,675,796	25,599,023,276	0	84,063,699,072	
	減資差益	0	710,893,469	0	710,893,469	注2
	損益外除売却差額相当額	△ 101,681,678	0	1,944,893,828	△ 2,046,575,506	注3
	その他	94,753,855,882	0	0	94,753,855,882	
	計	199,211,324,489	28,952,534,409	1,944,893,828	226,218,965,070	
損益外減価償却累計額	14,621,383,289	2,466,728,412	659,131,355	16,428,980,346	注3	
損益外減損損失累計額	543,436,871	153,467,928	120,880,023	576,024,776	注3	
差引計	184,046,504,329	26,332,338,069	1,164,882,450	209,213,959,948		

(注) 1. 当期減少額は、独立行政法入通則法第46条の2第4項の規定に従い国庫納付した額です。
 2. 当期増加額は、独立行政法入通則法第46条の2第4項の規定に従い国庫納付したことによるものです。
 3. 当期減少額は、「第87特定の償却資産」に該当する資産の減少によるものです。

1 2. 積立金の明細

区	分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	摘要
積立金	施設設備整備等積立金	9,156,707,015	49,531,483,314	0	58,688,190,329	注1
	計	25,599,023,276	49,531,483,314	25,599,023,276	58,688,190,329	注2

(注) 1. 当期増加額は、独立行政法入通則法第44条第1項の規定に従い、前期の利益処分において整理した額です。
 2. 当期減少額は、「剰余金の使途」に沿って固定資産を取得した額を資本剰余金へ振り替えたものです。

1 3. 目的積立金の取崩しの明細

区	分	金額	摘要
目的積立金取崩額		0	
その他	資本剰余金へ振替	25,599,023,276	注
計		25,599,023,276	

(注) 「剰余金の使途」に沿って固定資産を取得し、その取得に要した額を計上しております。

1 4. 運営費交付金債務及び当期振替額等の明細
 (1) 運営費交付金債務の増減の明細

交付年度	期首残高	交付金当期交付額	当期振替額			期末残高
			運営費交付金収益	資産見返運営費交付金	資本剰余金	
平成22年度	426,337,344	—	426,337,344	0	0	426,337,344
平成23年度	—	36,202,382,000	34,904,894,463	192,587,668	0	1,104,899,869
計	426,337,344	36,202,382,000	35,331,231,807	192,587,668	0	1,104,899,869

(単位：円)

(2) 運営費交付金債務の当期振替額の明細
 平成22年度交付分

区分	金額	内訳	(単位：円)
業務達成基準による振替額		1. 業務達成基準を採用した業務：診療業務、教育研修業務、臨床研究業務、その他 2. 当該業務に関する損益等 (1) 損益計算書に計上した費用の額：426,337,344円 ア. 診療業務 イ. 教育研修業務 ウ. 臨床研究業務 エ. その他 (内訳) 退職手当(国勤務期間分) 426,337,344円 (2) 固定資産の取得額：0円 ア. 診療業務 イ. 教育研修業務 ウ. 臨床研究業務 エ. その他 3. 運営費交付金収益化額の積算根拠 年度計画の予定どおりに遂行した業務について、各業務に当てられる運営費交付金の計画額を収益化	
期間進行基準による振替額	426,337,344	— (期間進行基準を採用した業務は無い)	
費用進行基準による振替額	0	— (費用進行基準を採用した業務は無い)	
会計基準第81第3項による振替額	0		
合計	426,337,344		

(単位：円)

平成23年度交付分

区	分	金額	内訳
業務達成基準 による振替額	運営費交付金収益	34,904,894,463	1. 業務達成基準を採用した業務：診療業務、教育研修業務、臨床研究業務、臨床研究業務、その他 2. 当該業務に関する損益等 (1) 損益計算書に計上した費用の額：34,904,894,463円 ア. 診療業務 (内訳) 災害医療経費 407,588,660円 イ. 教育研修業務 620,404,660円 (内訳) 国際医療協力経費 9,494,000円 看護師等養成所運営費 610,910,660円 ウ. 臨床研究業務 2,854,167,830円 (内訳) 臨床研究センター運営経費 417,857,559円 臨床研究部運営経費 705,725,773円 研究費 1,730,584,498円 エ. その他 31,022,733,313円 (内訳) 退職手当(国勤務期間分) 13,510,042,193円 整理資源 17,067,346,000円 恩給負担金 45,732,000円 医療廃棄物等処理費用等 37,584,920円 病院内保育所運営経費 362,028,200円 (2) 固定資産の取得額：192,587,668円 ア. 診療業務 0円 イ. 教育研修業務 0円 ウ. 臨床研究業務 192,587,668円 エ. その他 0円 3. 運営費交付金収益化額の積算根拠 年度計画の予定どおりに遂行した業務について、各業務に当てられる運営費交付金の計画額を収益化
	資産見返運営費交付金	192,587,668	
資本剰余金	0		
計	35,097,482,131		
期間進行基準 による振替額	運営費交付金収益	0	
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
計	0		
費用進行基準 による振替額	運営費交付金収益	0	
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
計	0		
会計基準第81第3項による振替額	0		
合計	35,097,482,131		
期間進行基準 による振替額			- (期間進行基準を採用した業務は無い)
費用進行基準 による振替額			- (費用進行基準を採用した業務は無い)

(3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位：円)

交付年度	運営費交付金債務残高			残高の発生理由及び収益化等の計画
	区分	業務等区分	金額	
平成23年度	業務達成基準を 採用した業務に 係る分	診療業務	0	<p>その他の事業のうち、国期間に係る退職手当について、計画に 対し、退職者が少なかつたため、運営費交付金債務として翌事業 年度へ繰り越したものの。</p> <p>翌事業年度において計画どおり成果を達成できる見込みであ り、翌事業年度において収益化する予定である。</p>
		教育研修業務	0	
		臨床研究業務	0	
	その他	1,104,899,869		
	小計	1,104,899,869		
	期間進行基準を 採用した業務に 係る分	—	0	— (期間進行基準を採用した業務は無い)
	費用進行基準を 採用した業務に 係る分	—	0	— (費用進行基準を採用した業務は無い)
	計		1,104,899,869	

15. 運営費交付金以外の国等からの財源措置の明細

(1) 施設費の明細

区分	当交付額	左の会計処理内訳			摘要
		建設仮勘定 見返施設費	資本剰余金	その他	
心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関施設整備費負担金	495,109,306	0	457,577,945	37,531,361	
独立行政法人国立病院機構施設整備補助金	2,119,441,343	130,754,550	1,909,877,392	78,809,401	
計	2,614,550,649	130,754,550	2,367,455,337	116,340,762	

(2) 補助金等の明細

区分	当交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
心神喪失者等医療観察法指定入院医療機関運営費負担金	161,528,038	0	13,361,866	0	148,166,172	
疾病予防対策事業費等補助金(感染症対策特別促進事業費)	25,080,000	0	0	0	25,080,000	
疾病予防対策事業費等補助金(難病特別対策推進事業費)	508,000	0	0	0	508,000	
疾病予防対策事業費等補助金(がん診療連携拠点病院機能強化事業費)	649,727,000	0	10,178,175	0	639,548,825	
医療施設運営費等補助金(災害医療調査ヘリコプター運営事業)	9,664,000	0	0	0	9,664,000	
医療施設運営費等補助金(DMAT事務局事業)	14,150,000	0	0	0	14,150,000	
医療施設等設備整備費補助金	54,819,000	0	25,462,596	0	29,356,404	
チーム医療実証事業委託費補助金	12,202,000	0	0	0	12,202,000	
地域診療情報連携推進費補助金	7,245,000	0	7,224,000	0	21,000	
精神保健福祉人材養成等事業委託費補助金	3,624,000	0	0	0	3,624,000	
[北海道外17県]地域医療再生基金事業費補助金	1,663,331,288	0	1,425,994,868	0	237,336,420	
[北海道外32都府県]災害救助費(東日本大震災)	146,216,462	0	0	0	146,216,462	
[北海道外46都府県]新人看護職員研修事業補助金	102,020,000	0	1,275,750	0	100,744,250	
[北海道外26都府県]救急勤務医支援対策事業補助金	85,693,000	0	13,791,000	0	71,902,000	
小計	2,935,807,788	0	1,497,288,255	0	1,438,519,533	

(単位：円)

区分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定補助金等	資産見返補助金等	資本剰余金	収益計上	
[北海道外3県] 女性医師等就労環境改善対策事業補助金	16,657,000	0	0	0	16,657,000	
[北海道] がん診療施設・設備整備費補助金	8,756,000	0	8,756,000	0	0	
[岩手県外11府県] 保健衛生施設等施設・設備整備費補助金	23,309,000	0	14,054,735	0	9,254,265	
[岩手県外2県] 新型インフルエンザ患者入院医療機関設備整備事業補助金	11,150,850	0	10,553,850	0	597,000	
[宮城県外2府県] 受入困難患者受入医療機関支援事業補助金	14,025,000	0	0	0	14,025,000	
[宮城県外3府県] 外国人看護師候補者就労研修支援事業補助金	2,609,000	0	0	0	2,609,000	
[宮城県] 健康支援事業補助金(リハビリテーション支援事業)	400,000	0	0	0	400,000	
[山形県] 結核予防費補助金	13,253	0	0	0	13,253	
[福島県外14都県] 産科医等確保支援事業費補助金	21,233,000	0	0	0	21,233,000	
[福島県外2県] 障害者自立支援対策臨時特例基金事業補助金	13,036,000	0	13,036,000	0	0	
[福島県外1県] 児童福祉施設等防災対策強化事業費	1,926,000	0	0	0	1,926,000	
[栃木県外2県] 感染症指定医療機関運営費等補助金	15,466,317	0	0	0	15,466,317	
[栃木県] 地域医療に係る県民協働事業補助金	200,000	0	0	0	200,000	
[群馬県] 災害医療対策事業費補助金	55,000	0	0	0	55,000	
[埼玉県] 救命救急・周産期母子医療センター医療従事者処遇改善事業費補助金	5,358,000	0	0	0	5,358,000	
[千葉県外1県] 安心子ども基金事業費補助金	923,000	0	0	0	923,000	
[千葉県] 在宅移行児童一時支援事業補助金	4,970,000	0	0	0	4,970,000	
[東京都外3府県] 在宅療養患者緊急時対応支援事業補助金	5,790,000	0	0	0	5,790,000	
[東京都外2県] 感染症指定医療機関施設・設備整備事業補助金	15,992,000	0	15,024,939	0	967,061	
[東京都] 医療施設運営費等補助金(救急医療トレーニングセンター運営事業)	43,330,000	0	26,194,875	0	17,135,125	
小計	205,199,420	0	87,620,399	0	117,579,021	

(単位：円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳			資本剰余金	収益計上	摘 要
		建設仮勘定 補助金等	資産戻 補助金等				
[長野県外 1 県] 病院群輪番制病院運営事業補助金	40,300,900	0	0	0	40,300,900		
[長野県] がん相談支援センター設置運営事業補助金	2,500,000	0	0	0	2,500,000		
[石川県外 4 府県] 医療施設耐震化整備事業費補助金	1,349,835,615	0	1,340,483,805	0	9,351,810		
[岐阜県外 2 県] 小児医療施設整備事業補助金	74,239,770	0	72,349,292	0	1,890,478		
[岐阜県外 2 県] 児童福祉施設入所児童等特別支援事業費補助金	988,000	0	0	0	988,000		
[愛知県] 医師派遣推進事業費補助金	2,684,000	0	0	0	2,684,000		
[滋賀県] 東近江地域重症難病患者入院運営事業費補助金	1,250,000	0	0	0	1,250,000		
[福井県] 療養介護事業所等整備助成事業補助金	28,700,000	0	0	0	28,700,000		
[大阪府外 6 県] 救急医療充実確保事業費補助金	186,142,000	0	165,244,489	0	20,897,511		
[大阪府] 病院内保育所施設整備費補助金	1,546,000	0	1,341,439	0	204,561		
[島根県] 高度ながん検診機器利用促進事業費補助金	1,438,000	0	0	0	1,438,000		
[島根県] 医療拠点機能確保整備費補助金 (医療機器整備)	2,537,000	0	2,537,000	0	0		
[岡山県] 医療施設等設備整備費補助金	70,172,000	0	70,172,000	0	0		
[広島県外 1 県] 産科周産期医療施設等整備事業補助金	752,339,712	0	747,104,139	0	5,235,573		
[高知県] 災害拠点病院等医療救護体制強化事業補助金	5,497,819	0	4,529,805	0	968,014		
[熊本県] へり救急搬送体制整備 (医療器械等) 事業費補助金	4,532,000	0	2,827,000	0	1,705,000		
[熊本県] 災害拠点病院・DMAT 資機材整備事業費補助金	5,265,000	0	4,815,000	0	450,000		
[熊本県] 総合医療養成プログラム作成事業補助金	404,000	0	0	0	404,000		
[宮崎県] 地域医療機関連携促進事業費補助金	70,000,000	0	66,885,000	0	3,115,000		
[宮崎県] 県西部救急・周産期医療拠点病院整備事業費補助金	340,280,000	0	336,040,086	0	4,239,914		
小 計	2,940,651,816	0	2,814,329,055	0	126,322,761		

(単位：円)

区 分	当期交付額	左の会計処理内訳				摘要
		建設仮勘定 補助金等	資産見返 補助金等	資本剰余金	収益計上	
[さいたま市外2市] 児童福祉施設入所児童等特別支援事業費補助金	8,224,000	0	7,732,350	0	491,650	
[新潟市] 病院群輪番制病院運営事業補助金	2,551,900	0	0	0	2,551,900	
[宇都宮市外3市] 救急医療体制運営費補助金	23,140,720	0	0	0	23,140,720	
[高崎市] 高崎総合医療センター医療機器整備費等補助金	4,480,425	0	0	0	4,480,425	
[東江市] 東近江救急隊専用回線補助事業	39,488	0	0	0	39,488	
[大竹市] PET-CT装置整備に係る補助金	87,039,000	0	87,039,000	0	0	
[岩国市] 民間保育所等環境整備事業費補助金	38,000	0	0	0	38,000	
[松山市] 地球温暖化対策機器補助金	1,000,000	0	1,000,000	0	0	
小 計	126,513,533	0	95,771,350	0	30,742,183	
計	6,208,172,557	0	4,495,009,059	0	1,713,163,498	

1 6. 役員及び職員給与の明細

(単位：円、人)

区分	報酬又は給与		退職手当	
	支給額	支給人員	支給額	支給人員
役員	(4,320,000)	(3)	(0)	(0)
	119,333,489	7	0	0
職員	(25,536,380,648)	(10,793)	(0)	(0)
	334,129,624,545	53,162	20,650,114,721	4,461
合計	(25,540,700,648)	(10,796)	(0)	(0)
	334,248,958,034	53,169	20,650,114,721	4,461

- (注) 1. 役員に対する報酬等は、独立行政法人国立病院機構役員報酬規程及び独立行政法人国立病院機構役員退職手当規程によっております。
 職員に対する給与等は、独立行政法人国立病院機構職員給与規程、独立行政法人国立病院機構院長給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤職員給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤医師及び歯科医師給与規程、独立行政法人国立病院機構本部職員給与規程及び独立行政法人国立病院機構本部非常勤職員給与規程によっております。
 2. 職員に対する給与等は、独立行政法人国立病院機構職員給与規程、独立行政法人国立病院機構非常勤医師及び歯科医師給与規程、独立行政法人国立病院機構本部職員給与規程、独立行政法人国立病院機構本部非常勤職員給与規程によっております。
 3. 支給人員数は、年間平均支給人員数を記載しております。
 4. 非常勤の役員及び職員は、外数として()で記載しております。
 5. 中期計画においては、法定福利費等を含めて予算上の人件費としておりますが、上記明細には法定福利費等は含まれておりません。

決算報告書

決算報告書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

【独立行政法人 国立病院機構】

(単位：円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額	備 考
収入				
運営費交付金	36,202,382,000	36,202,382,000	0	
施設整備費補助金	2,471,706,000	2,191,575,843	△ 280,130,157	工事の進捗の遅れにより厚生労働省において明許繰越を行ったこと等による
長期借入金等	32,185,728,000	10,000,000,000	△ 22,185,728,000	内部資金を活用し借入金を抑制したことによる
業務収入	848,735,670,881	851,365,243,825	2,629,572,944	平均在院日数の短縮による上位施設基準を取得したこと等による
その他収入	3,255,817,000	18,739,360,794	15,483,543,794	資金運用の戻入による
計	922,851,303,881	918,498,562,462	△ 4,352,741,419	
支出				
業務経費	765,521,011,175	767,591,408,419	2,070,397,244	
診療業務経費	697,936,581,000	702,692,064,508	4,755,483,508	医薬品費等の材料費が計画より増加したこと等による
教育研修業務経費	6,641,162,000	6,135,950,219	△ 505,211,781	経費を計画より削減したこと等による
臨床研究業務経費	10,851,996,710	10,747,234,392	△ 104,762,318	経費を計画より削減したこと等による
その他の経費	50,091,271,465	48,016,159,300	△ 2,075,112,165	退職給付費用が計画より減少したこと等による
施設整備費	64,836,968,000	52,818,239,520	△ 12,018,728,480	建築コストの削減及び工事の進捗の遅れにより、整備費の年度内の支払額が計画より減少したことによる
借入金償還	46,999,922,000	46,146,239,656	△ 853,682,344	借入の減による
支払利息	10,867,441,578	10,377,955,007	△ 489,486,571	借入の減による
その他支出	8,566,805,000	36,428,203,131	27,861,398,131	資金運用の預入による
計	896,792,147,753	913,362,045,733	16,569,897,980	

(注) 損益計算書の計上額と決算額の集計区分の相違の概要は、以下のとおりであります。

(1) 損益計算書の以下の科目は、決算報告書上は「業務収入」に含まれております。

- ① 診療業務収益のうち「医業収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他診療業務収益」
- ② 教育研修業務収益のうち「看護師等養成所収益」、「研修収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他教育研修業務収益」
- ③ 臨床研究業務収益のうち「研究収益」、「補助金等収益」、「寄附金収益」、「その他臨床研究業務収益」
- ④ その他経常収益のうち「財務収益」、「土地建物等貸付料収入」、「宿舍貸付料収入」、「寄附金収益」、「その他経常収益」

(2) 損益計算書の臨時利益は、決算報告書上は「その他収入」に含まれております。

(3) 損益計算書の「一般管理費」、その他経常費用のうち財務費用の「支払手数料」及び「その他経常費用」は、決算報告書上は業務経費の「その他の経費」に含まれております。

監事の意見

監査報告書

独立行政法人国立病院機構

理事長 桐野高明 殿

私たち監事は、独立行政法人通則法第19条第4項及び第38条第2項の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第8期事業年度の業務及び会計について監査を行いました。その結果について、以下のとおり報告いたします。

1. 監事の監査の方法及びその内容

各監事は、独立行政法人国立病院機構監事監査規程に従い、理事、内部監査部門、その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、役員会その他重要な会議に出席するほか、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部及び主要な施設において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から職務の遂行を適正に行うための体制について、監査に関する品質管理基準等に従って整備している旨の報告を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、損失の処理に関する書類（案）、行政サービス実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書）並びに決算報告書について検討を加えました。

また、理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等に関しては、上記の監査の方法のほか、必要に応じて理事等から報告を求め、当該事項の状況を詳細に調査いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告書の監査結果

- 一 事業報告書は、法令等に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の業務遂行に関しては、不正の行為または法令等に違反する重大な事実は認められません。

なお、理事と法人間の利益相反取引、理事の法人業務以外の金銭上の利益を目的とする業務の実施、重要な財産の取得、処分及び管理、法令違反行為並びに業務上の事故等についても理事の義務違反は認められません。


(2) 財務諸表及び決算報告書の監査結果

- 一 会計監査人 新日本有限責任監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- 二 財務諸表（損失の処理に関する書類（案）を除く。）は、法人の財政状態並びに運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。
- 三 損失の処理に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認めます。
- 四 決算報告書は、予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認めます。

平成24年6月20日

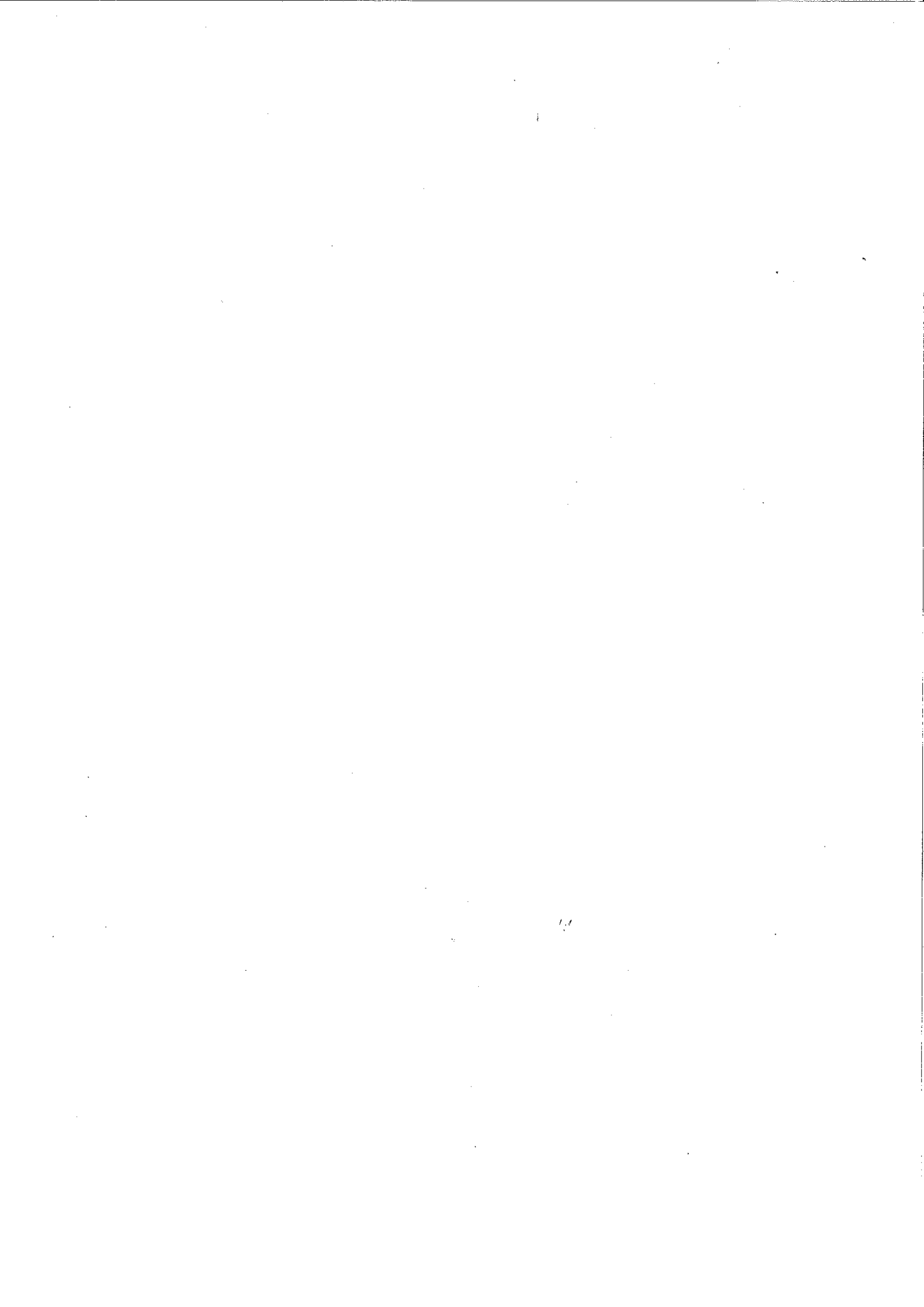
独立行政法人国立病院機構

監事

山口正隆 

監事

小野高史 



会計監査人の意見

独立監査人の監査報告書

平成24年6月20日

独立行政法人 国立病院機構

理事長 桐野高明 殿

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

荒尾泰則 

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

山田洋一 


指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

樋澤克彦 

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士

鈴木裕子 

<財務諸表監査>

当監査法人は、独立行政法人通則法（以下「通則法」という。）第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第8期事業年度の損失の処理に関する書類（案）を除く財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書、行政サービス実施コスト計算書、重要な会計方針、その他の注記及び附属明細書について監査を行った。

財務諸表に対する独立行政法人の長の責任

独立行政法人の長の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して財務諸表（損失の処理に関する書類（案）を除く。以下同じ。）を作成し適正に表示することにある。これには、不正及び誤謬並びに違法行為による重要な虚偽の表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために独立行政法人の長が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

会計監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の監査の基準に準拠して監査を行った。この監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽の表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。監査は、独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為が財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす要因となる場合があることに十分留意して計画される。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正及び誤謬並びに違法行為による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、独立行政法人の長が採用した会計方針及びその適用方法並びに独立行政法人の長によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。この基礎には、当監査法人が監査を実施した範囲においては、財務諸表に重要な虚偽の表示をもたらす独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の存在は認められなかったとの事実を含んでいる。なお、当監査法人が実施した監査は、財務諸表の重要な虚偽の表示の要因とならない独立行政法人の長又はその他の役員若しくは職員による不正及び誤謬並びに違法行為の有無について意見を述べるものではない。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる独立行政法人の会計の基準に準拠して、独立行政法人国立病院機構の財政状態、運営状況、キャッシュ・フローの状況及び行政サービス実施コストの状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

強調事項

重要な会計方針の3に記載されているとおり、機構は平成24年度より医業収益を財源として整理資源負担金を支出することになったため、当該負担額を退職給付引当金に含めて計上している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

<通則法が要求する損失の処理に関する書類（案）及び決算報告書に対する意見>

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第8期事業年度の損失の処理に関する書類（案）及び決算報告書について監査を行った。

損失の処理に関する書類（案）及び決算報告書に対する独立行政法人の長の責任

独立行政法人の長の責任は、法令に適合した損失の処理に関する書類（案）を作成すること及び予算の区分に従って決算の状況を正しく示す決算報告書を作成することにある。

会計監査人の責任

当監査法人の責任は、損失の処理に関する書類（案）が法令に適合して作成されているか及び決算報告書が予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているかについて、独立の立場から意見を表明することにある。

通則法が要求する損失の処理に関する書類（案）及び決算報告書に対する監査意見

当監査法人の監査意見は次のとおりである。

- (1) 損失の処理に関する書類（案）は、法令に適合しているものと認める。
- (2) 決算報告書は、独立行政法人の長による予算の区分に従って決算の状況を正しく示しているものと認める。

<事業報告書に対する報告>

当監査法人は、通則法第39条の規定に基づき、独立行政法人国立病院機構の平成23年4月1日から平成24年3月31日までの第8期事業年度の事業報告書(会計に関する部分に限る。)について監査を行った。なお、事業報告書について監査の対象とした会計に関する部分は、事業報告書に記載されている事項のうち会計帳簿の記録に基づく記載部分である。

事業報告書に対する報告

当監査法人は、事業報告書(会計に関する部分に限る。)が独立行政法人国立病院機構の財政状態及び運営状況を正しく示しているものと認める。

利害関係

独立行政法人と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上